

平成 25 年度事業報告及びその附属明細書

公益社団法人 東京生薬協会

I 平成 25 年度の事業報告

■ 1 号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その 1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民（都民）の健康増進に寄与する事業を実施した。

1) 薬草観察会

（学術委員会）

①春の薬草観察会

- ・開催日：平成 25 年 5 月 26 日（日）10：00～15：00
- ・場 所：三室山(青梅市)
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、小根山 隆祥、南雲清二、鈴木幸子、高橋 宏之(敬称略)
- ・参加者：98 名
- ・参加費：無料（保険料 100 円）

②秋の薬草観察会

- ・開催日：平成 25 年 10 月 6 日（日）10：00～15：00
- ・場 所：小石川植物園
- ・講 師：和田浩志、磯田 進、小根山隆祥、南雲清二、鈴木幸子、高橋宏之(敬称略)
- ・講 義：「小石川植物園の歴史」講師は南雲清二
- ・参加者：83 名
- ・参加費：無料（保険料 100 円）

2) 薬草収穫感謝の会

（総務委員会）

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、本町生薬会
- ・開催日：平成 25 年 11 月 9 日（土）10：00～15：00
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：養命酒製造(株)代表取締役社長 塩澤 太郎先生
- ・演 題：「生薬とお酒」
- ・参加者：175 名受講
- ・植物園見学参加者：85 名
- ・入園者：888 名
- ・記念品配布者数：300 名(花の苗 300 鉢、お土産袋 300 袋)

3) 第 29 回 生薬に関する懇談会の開催

（学術委員会）

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催した。

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、公益社団法人東京生薬協会
- ・開催日：平成 25 年 12 月 7 日（土）13：00～18：00
- ・会 場：星薬科大学

- ・テーマ：「黄耆・遠志」
- ・参加人数：336名
- ・参加費：3,000円、懇親会費：2,000円

4) 薬用植物・生薬に関する講習会

(学術委員会)

会員及び一般都民の人を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもってもらえるよう開催した。

- ・テーマ：「未病（養生）」
- ・開催日：平成25年10月～平成26年3月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,000円 ・参加者合計242名（対前年比224%）

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 10月27日 (日)	神農本草経の上薬 東京生薬協会 学術委員会 委員長 小根山 隆祥 先生	漢方最古の古典「黄帝内経」にみる養生 日本大学 評議員 山内 盛 先生	36
【第2回】 11月24日 (日)	健康寿命を考える養生法 いざわ漢法クリニック 院長 伊澤 和光 先生	子育ての養生法 聖マリアンナ医科大学客員教授 崎山 武志 先生	34
【第3回】 1月26日 (日)	女性のための漢方Ⅱ 高木クリニック院長 高木 嘉子 先生	心の養生法 青山杵淵クリニック院長 杵淵 彰 先生	56
【第4回】 2月23日 (日)	養生のための健康茶 昭和大学薬学部非常勤講師 磯田 進 先生	漢方医からみた養生法 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘 先生	59
【第5回】 3月23日 (日)	養生のための薬用酒を造ろう 東京生薬協会学術委員 清水 虎雄 先生	未病・養生のための食生活・健康法 昭和大学薬学部准教授 高松 智 先生	57

5) OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

(事務局)

- ・主 催：6団体（東京生薬協会、東京薬事協会、東京都家庭薬工業協同組合、OTC 医薬品協会、東京都薬剤師会、東京都医薬品登録販売者協会）
- ・後 援：東京都、厚生労働省
- ・協 賛：くすりの適正化協議会、日本一般用医薬品連合会、東京商工会議所千代田支部
- ・開催日：平成25年9月13日（金）～14日（土）
- ・会 場：新宿西口地下広場イベント会場
- ・出展社：34社

- 来場者：2日間で約3万人
- 内容：模擬店舗、アンケート調査（約1,100部）、クイズラリー(1,300袋)
- 薬の起源等に関する紙芝居：参加者300名

6) 会報の発行（7月、1月） （広報委員会）

- 生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び関係団体等へ配布した。
- 発行部数：400部

7) 協会ホームページの更新 （広報委員会）

- ホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」などを随時更新した。
- 協会に関する基本情報についても更新した。
- 第16局改正に伴い、既掲載の「常用和漢薬集」の内容を見直し、局方に準じた内容にした。（80生薬）

- ホームページへのアクセス状況

	（訪問数）	（ユーザー数）	（ページビュー数）
2011.4.1～2011.9.30	3,067	1,718	12,144
2011.10.1～2012.3.31	2,898	1,517	11,597
2012.4.1～2012.9.30	5,470	2,875	25,155
2012.10.1～2013.3.31	10,763	5,512	39,573
2013.4.1～2013.9.30	21,158	12,706	75,685
（前6か月対比）	（+96.6%）	（+130.5%）	（+91.3%）

2013.4.1～2013.9.30の6か月間は訪問数、ユーザー数、ページビュー数ともに2倍程度と大幅に増加している。それに伴い、新規訪問割合が47.5%から56.7%に増加しており、すそ野が広がっている。

8) ふれあいガーデン事業（参加者合計：437名） （事業管理委員会）

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- 平成25年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、北部緑地（株）の3者共同事業体にて、園内400㎡を対象に薬用植物に関連した事業（下記のイベント等）を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	6日(土)	やさしい薬膳	近藤美春	72
	13日(土)	四季のロックガーデン	鈴木幸子	37
	20日(土)	ハーブの庭	小泉美智子	32
5月	25日(土)	癒しのリース教室	田淵清美	30
6月	8日(土)	アロマセラピー 初夏	鈴木悦子	24
	22日(土)	やさしい薬膳 酷暑の前に	近藤美春	41
7月	13日(土)	夏のハーブ	小泉美智子	33
9月	14日(土)	季節の草木で染める	山浩美	29
11月	16日(土)	やさしい薬膳 厳冬前に	近藤美春	54
12月	14日(土)	手湯で温まる	小根山隆祥	16
3月	8日(土)	オリジナルスパイス	S&B食品	39
	29日(土)	早春の植物たち	吉澤政夫	30

9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を現日本薬局方(16局)と照合する作業を実施し、改訂作業を実施した。公開品目数は、80生薬となった。

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動(その2)

【東京都薬用植物園受託事業】

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を都民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応 : 1,068件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応 : 1,335件

園内管理：土、日、祝日対応 115日

年間来園者数：123,748人

(2) 栽培補助業務(標本栽培区、温室、育苗その他)： 延べ2,053人・年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業(ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラック、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務)：

延べ450人・年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：30 日間実施、延べ参加者数：1,794 名
協会の応援人数延べ：62 人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット	15,000 部
写真で見る絶滅危惧種植物	10,000 部
「四季の薬草」パンフレット	15,000 部
講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	2,050 部
野外展示用ラベル及び立て札	113 枚
ケシ講座・アサ他	2,500 枚

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

- 保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等
栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等
清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等
警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

薬草教室を年間 8 回実施した。（合計参加者：759 名）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数
1 回	4 月 24 日 (水)	日本の薬草栽培の歴史	南雲清二 (皇薬科大学名誉教授)	67
2 回	5 月 23 日 (木)	薬草と野菜	山内 盛 (日本生薬学会代議員)	139
3 回	6 月 26 日 (水)	水辺の薬草と毒草	磯田 進 (昭和大薬学部講師)	70
4 回	7 月 25 日 (木)	アウトドアで気を付ける植物	指田 豊 (東京薬科大学名誉教授)	156
5 回	8 月 29 日 (木)	消化器の病気と漢方薬	大野修嗣 (大野クリニック院長)	84
6 回	9 月 3 日 (火)	中国のダイオウ産地を訪ねて	新井 信 (東海大学医学部)	57
7 回	10 月 24 日 (木)	帰化植物と薬草	和田浩志 (東京理科大学薬学部講師)	117
8 回	11 月 20 日 (水)	薬用植物園の野鳥	吉澤政夫 (森林インストラクター)	69

(2) 薬草観察会の開催（講師：東京都薬用植物園職員）

① 春の薬草観察会

平成 25 年 5 月 26 日 (日) 三室山 (青梅市) 98 名

② 秋の植物観察会

平成 25 年 10 月 6 日 (日) 小石川植物園 83 名

(3) 薬草の普及啓発講座（合計参加者：929名）

平成25年度は以下のような薬用植物に関する普及啓発講座を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	6日(土)	やさしい薬膳	近藤美春		○	72
	13日(土)	四季のロックガーデン	鈴木幸子		○	37
	20日(土)	ハーブの庭	小泉美智子		○	32
5月	1日(水)~24日(金)	ケシのパネル展	展示	○		—
	11日(土)・12日(日)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		175
	25日(土)	癒しのリース教室	田淵清美		○	30
6月	8日(土)	アロマセラピー 初夏	鈴木悦子		○	24
	22日(土)	やさしい薬膳 酷暑の前に	近藤美春		○	41
7月	13日(土)	夏のハーブ	小泉美智子		○	33
	21日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		149
8月	16日(金)	夏休子供植物教室（葉っぱを使って絵を描こう）	北川重美、中山麗子	○		44
9月	14日(土)	季節の草木で染める	山浩美		○	29
11月	16日(土)	やさしい薬膳 厳冬前に	近藤美春		○	54
12月	14日(土)	手湯で温まる	小根山隆祥		○	16
	18日(水)	木の実・草の実リース作り		○		38
2月	13日(木)	健康講座（薬事協との共催） 生薬を用いた効果的なお風呂の入り方	(株)バスクリン	○		50
3月	8日(土)	オリジナルスパイス	S&B食品		○	39
	27日(木)	薬木で盆栽を作ろう	清水虎雄	○		36
	29日(土)	早春の植物たち	吉澤政夫		○	30

(4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	13回	1,071名
② 薬務、保健所等研修	4回	99名
③ 警察、薬防協等研修	21回	425名
④ 学生研修	7回	41名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	3回	28名
⑥ 一般(団体)指導	17回	667名

3) 薬用植物の栽培

①薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。

②ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

- ①種子交換 : 種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。
- ②さく葉作成: 種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ③生薬標本の作成: 種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ④資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

1) 薬用植物栽培説明会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

開催日: 平成 25 年 11 月 5 日 (火) 午前 11 時 20 分~午後 5 時 00 分

場 所: 新発田市松浦農村環境改善センター

内 容: 東京生薬協会の事業について (田中事務局長)

生薬の栽培と生産について (金井常務理事)

圃場候補地の視察: 松浦地区松岡地内、菅谷地区上寺内地内

参加者: 農業者、新潟県新発田地域振興局、JA 北越後、新発田市、

東京生薬協会: 金井常務理事、岡田栽培指導員、田中事務局長

合計: 12 名

■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

1) 日本薬局方原案審議委員会への参加

(学術委員会)

- ①生薬等(A)委員会 4月、6月、9月、11月、1月、3月に開催、菊地氏・山路氏(ツムラ)が参加し、生薬等(B)委員会 3月、5月、7月、10月、12月、2月に開催、武田氏(ツムラ)が参加し、討議の結果が学術委員会にて報告された。

②第 16 改正日本薬局方 第二追補の収載(2014 年 2 月 28 日施行)

- ・新規収載品目数: 7 品目

生薬 2: シャカンゾウ、ニクジュヨウ

その他 1: ベラドンナ総アルカロイド

漢方処方エキス 4: 葛根湯川キュウ辛夷、乙字湯、大柴胡湯、麻黄湯

- ・既収載の変更: 確認(純度)試験 37 品目、定量法 11 品目、基原・性状: 20 品目

【公益社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】

- ・基原・生薬の性状: 新規 2 生薬、既収載変更 20 生薬(100%)

- ・確認（純度）試験（TLC 法）の変更：新規 2 生薬、既収載変更 37 生薬（100%）
 - ・収載に関わる試薬・試液（処方エキスも含む）（100%）
- ③第 17 改正日本薬局方（継続審議中）
- ・ショウマの確認試験（100%）
 - ・生薬試験法 重金属試験法の記載について
 - ・日局標準品が頒布されるもので試薬・試液に薄層クロマトグラフィー用試薬があるものの規格整備（100%）。
 - ・ボウショウ及び無水ボウショウ（100%）
- ④原案作成要領改正案の作成（総合委員会審議中）
- 【公益社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】
- ・日本薬局方原案審議委員会総合小委員会に参加（菊地氏）。
- ⑤日本薬局方外生薬規格
- ・“和英対訳 日本薬局方外生薬規格 2012” の出版に協力
 - ・日本薬局方外生薬規格 2015（仮称）WG（第 1 回：1 月）に参加。
2012 の積み残し生薬の検討。4 月に検討会議（厚生労働省）の開催予定
東生協担当：チャヨウ，ショウバク
- 【公益社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】
- ・全品目の（英文）、TLC 画像及び生薬画像のデータ収載に協力（菊地氏、山路氏、神本氏が協力）
- ⑥漢方処方の原案作成WG
- 菊地氏，神本氏（ツムラ）、山下氏（常磐植物化学研究所）が参加：6 回
- 【公益社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】
- 収載候補品目の全てについて審議に参加

2) 生薬栽培地の視察・情報収集活動の実施 （薬用植物国内栽培事業委員会）

- ①秋田県八峰町にて薬用植物栽培地等の視察を実施した。
- ・開催日：平成 25 年 6 月 6 日（木）～7 日（金）
 - ・見学地：世界自然遺産緩衝地域、白神山地二つ森
 - ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
 - ・参加者：25 人
- ②秋田県美郷町にて薬用植物栽培地の視察と記念植樹を実施した。
- ・開催日：平成 25 年 7 月 1 日（月）～2 日（火）
 - ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
 - ・参加者：13 人

3) 薬用植物国内栽培に関する連携協定 （薬用植物国内栽培事業委員会）

- ①新潟県新発田市にて薬用植物栽培地等の意見交換と調印式を実施した。
- ・開催日：平成 26 年 3 月 27 日（木）
 - ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換 ・調印式：薬用植物国内栽培に関する連携協定締結

- ・参加者：協会側 :10 人(藤井会長、末次専務理事、加賀事業管理委員長他)
新発田市側：市長、市議会議員、JA 関係者他

② 新潟県新潟市にて薬用植物栽培地等の意見交換と調印式を実施した。

- ・開催日：平成 26 年 3 月 28 日(金)
- ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
- ・調印式：薬用植物国内栽培に関する連携協定締結
- ・参加者：協会側 : 14 人(藤井会長、末次専務理事、加賀事業管理委員長)
新潟市側：市長、市議会議員、JA 関係者他

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修を実施した。

① 株式会社龍角散千葉工場見学

- ・開催日：10 月 29 日 (火)
- ・参加者：16 名

② 東京都薬用植物園『薬木植生マップ』作成作業

都薬用植物園内の主な樹木、約 160 種の樹種と植栽位置を現状調査した。
また植生マップ初版作成へ向け、体裁および内容の案を検討した。

- ・開催日：3 月 23 日 (日)
- ・参加者：9 名

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会の実施 (事務局)

- ・開催日：平成 26 年 1 月 28 日 (火)
- ・会 場：神田明神・明神会館
- ・出席者：78 名

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施 (総務委員会)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施した。

- ・開催日：平成 25 年 10 月 17 日 (木)
- ・会 場：昭和薬貿ビル 2 F
- ・2階直会会場に出展した。(3 社、6 人)
- ・出 展：秋の七草、薬用植物説明パネル及び種子標本を展示した。

3) MCMIA (現代化中医薬国際協会) との交流 (事務局)

- ・平成 25 年 8 月に香港で開催された展示会 ICMCM で東京都薬用植物園のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM 展示会場、衛生局訪問、余仁生総合医療中心、香港浸海大学中醫藥學院
- ・参加者：29 名(公益社団法人東京生薬協会 10 名、全国家庭薬協議会 19 名)

4) 創立 60 周年記念事業の開催 (事務局) (60 周年事業準備委員会)

① 記念講演会・懇親会

- ・開催日時：平成 25 年 10 月 23 日 (水) 18:00~21:00
- ・会 場：神田明神会館
- ・記念講演会 18:00~18:50
演 者 顧問 伊藤 敏雄
演 題「東京生薬協会のこと、その他」一思い出すままに一
- ・記念式典 19:00~19:20
60 周年記念受賞者：風間最高顧問、伊藤顧問、金原副会長、赤須理事
- ・記念祝賀会 19:30~21:00
- ・参加者：84 名

② くすりの歴史展

- ・共 催：公益社団法人東京生薬協会、公益社団法人東京薬事協会
- ・開催期間：平成 25 年 10 月 22 日 (火) ~25 日 (金) 4 日間
- ・会 場：昭和薬貿ビル 2 階会議室

- ・内 容：『江戸末期から明治・大正・昭和初期の薬がわかる』と題して各種文化財の展示と講演会を開催した。
秋の七草と天井絵図でみる植物コーナー（学術委員による解説）及びシベリアジャコウジカ（株式会社金井藤吉商店所有）、麝香（株式会社金原市兵衛商店所有）を展示した。
- ・講演会：画像に見る本町辺りの変遷（総括文化財調査指導員 野口孝一）
明治初期に行われたキナ国産化の試み（星薬科大学名誉教授 南雲清二）
龍角散にみる家庭薬の歴史（㈱龍角散社長 藤井隆太）
- ・参加者：627名

Ⅱ. 総会、理事会、委員会等開催

通常総会	2回	5月	3月				
理 事 会	3回	5月	11月	3月			
会計・業務監査	1回	4月					
総務委員会	4回	5月	8月	10月	2月		
学術委員会	6回	4月	6月	9月	11月	2月	3月
広報委員会	4回	6月	8月	12月	2月		
事業管理委員会	5回	5月	8月	9月	12月	2月	
事業管理委員会 WG	6回	4月	6月	7月	10月	11月	1月
60周年記念事業準備委員会	2回	4月	7月				
薬用植物国内栽培事業委員会	6回	5月	6月	8月	10月	11月	2月

Ⅲ. 会費、会員数及び平成 25 年度入退会

1. 会費収入：会員 109 名（合計 8,275 円）

2. 期首会員数：86 名

3. 期末会員数：109 名

4. 入 会（26 件：法人正会員 3 件、個人正会員 8 件、サポーター 15 件）

法人正会員：株式会社健康ビジネスインフォ、株式会社セネコム、田村薬品工業株式会社

個人正会員：田中建次、内田肇、清水虎雄、小根山隆祥、金井澄雄、酒井小百合、谷本智彦、三好漢方薬局

サポーター会員：15 名

5. 退 会（3 件）

法人正会員：(有)片桐樓龍堂

個人正会員：工藤 一馬、伊藤 寛

以 上

平成25年度 事業報告附属明細書

事業	事業名	テーマ	日程	場所	参加人数	講師(敬称略)	
1号事業 (学術委員会)	薬草観察会	春	春の薬草観察会	平成25年 5月 26日(日)	三室山	98	小根山・和田・高橋・磯田・鈴木・南雲
		秋	秋の薬草観察会	平成25年10月 6日(日)	小石川植物園	83	小根山・和田・高橋・磯田・鈴木・南雲
	生薬に関する懇談会	第29回	黄耆・遠志	平成25年12月 7日(土)	星薬科大学	336	日本生薬学会と共催
	薬用植物・生薬に関する講座 (テーマ:未病・養生)	第1回	神農本草経の上巻、漢方最古の古典「黄帝内経」にみる養生	平成25年10月27日(日)	東京都薬用植物園	36	小根山 隆祥(学術委員会 委員長) 山内 盛(日本大学 評議員)
		第2回	健康寿命を考える養生法、子育ての養生法	平成25年11月24日(日)	〃	34	伊澤 和光(いざわ漢法クリニック 院長) 嶋山 武志(聖マリアンナ医科大学各員教授)
		第3回	女性のための漢方Ⅱ、心の養生法	平成26年 1月26日(日)	〃	56	高木 嘉子(高木クリニック院長) 柘淵 彰(青山柘淵クリニック院長)
		第4回	養生のための健康茶、漢方医からみた養生法	平成26年 2月23日(日)	〃	59	磯田 進(昭和大学薬学部非常勤講師) 山田 享弘(金匱会診療所 所長)
第5回	養生のための薬用酒を造ろう、未病・養生のための食生活・健康法	平成26年 3月23日(日)	〃	57	清水 虎雄(東京生薬協会学術委員) 高松 智(昭和大学薬学部准教授)		
新常用和漢薬集の改訂	旧版収載の和漢薬(236品目)について内容を見直しホームページに80品目掲載					掲載されている生薬を現日本薬局方(16局)と照合し、改訂作業を実施	
1号事業 (総務委員会)	薬草収穫感謝の会	生薬・薬用植物の一年の収穫を感謝し、講演会、植物観察会を開催する。	平成25年11月 9日(土)	東京都薬用植物園	講演会:175 来園者:388	共催:東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、本町生薬会	
1号事業 (事務局)	OTC医薬品とセルフメディケーション	第6回	よく知って、正しく使うOTC医薬品	平成25年 9月13日(金)・14日(土)	新宿西口イベント広場	約3万 共催:6団体(東京生薬協会、東京薬事協会、東京都家庭薬工業協同組合、日本OTC医薬品協会、東京都薬剤師会、東京都医薬品登録販売者協会) 後援:東京都、厚生労働省	
1号事業 (広報委員会)	会報の発行	第455号、第456号	平成25年7月13日 平成26年1月18日	会報No.455/2013.7発行 藤井隆太、末次大作、中谷肇一、奇橋:南雲清二、奥山徹、小根山隆祥、布目慎彦、生薬解説:指田豊、総頁数:20頁 会報No.456/2014.1発行 中谷肇一、藤井隆太 奇橋:渡辺一輝、和田浩志、小根山隆祥、布目慎彦、伊藤敬雄、生薬解説:指田豊 総頁数:20頁			
	協会ホームページの更新	「お花の見ごろ情報」「最新イベント情報」「新常用和漢薬集」等の更新					
1号事業② (事業管理委員会)	薬草教室	第1回	日本の薬草栽培の歴史	平成25年 4月24日(水)	東京都薬用植物園	67	南雲 清二(星薬科大学名誉教授)
		第2回	薬草と野菜	平成25年 5月23日(水)	〃	139	山内 盛(日本生薬学会代議員)
		第3回	水辺の薬草と毒草	平成25年 6月26日(水)	〃	70	磯田 進(昭和大学薬学部非常勤講師)
		第4回	アウトドアで気を付ける植物	平成25年 7月25日(木)	〃	156	指田 豊(東京薬科大学名誉教授)
		第5回	消化器の病気と漢方薬	平成25年 8月29日(木)	〃	84	大野 修嗣(大野クリニック院長)
		第6回	中国のダイオウ産地を訪ねて	平成25年 9月 3日(火)	〃	57	新井 信(東海大学医学部准教授)
		第7回	帰化植物と薬草	平成25年10月24日(木)	〃	117	和田 浩志(東京理科大学薬学部講師)
		第8回	薬用植物園の野鳥	平成25年11月20日(水)	〃	69	吉澤 政夫(森林インストラクター)
	イベント事業	第1回	やさしい薬膳	平成25年 4月 6日(土)	〃	72	近藤 美春(草屋舎共催)
		第2回	四季のロックガーデン	平成25年 4月13日(土)	〃	37	鈴木 幸子(草屋舎共催)
		第3回	ハーブの庭	平成25年 4月20日(土)	〃	32	小泉 美智子(草屋舎共催)
		第4回	ケシのパネル展	平成25年 5月1日(水)~24日(金)	〃	—	ケシ畑の前
		第5回	ケシのミニ講座	平成25年 5月11日(土)・12日(日)	〃	175	薬用植物園職員
		第6回	癒しのリース教室	平成25年 5月 25日(土)	〃	30	田淵 清美(草屋舎共催)
		第7回	アロマセラピー 初夏	平成25年 6月 8日(土)	〃	24	鈴木 悦子(草屋舎共催)
		第8回	やさしい薬膳 酷暑の前に	平成25年 6月 22日(土)	〃	41	近藤 美春(草屋舎共催)
		第9回	夏のハーブ	平成25年 7月 13日(土)	〃	33	小泉 美智子(草屋舎共催)
		第10回	薬草クイズラリー	平成25年 7月 21日(日)	〃	149	東京生薬協会
		第11回	夏休み親子植物教室	平成25年 8月 16日(金)	〃	44	中山 麗子
第12回	季節の草木で染める	平成25年 9月 14日(土)	〃	29	山 浩美(草屋舎共催)		
第13回	やさしい薬膳 厳冬前に	平成25年11月16日(土)	〃	54	近藤 美春(草屋舎共催)		
第14回	手湯で温まる	平成25年12月14日(土)	〃	16	小根山 隆祥(草屋舎共催)		
第15回	木の実・草の実リース作り	平成25年12月18日(水)	〃	38	中山 麗子		
第16回	健康講座	平成26年 2月 13日(木)	〃	50	東京薬事協会共催		
第17回	オリジナルスライス	平成26年 3月 8日(土)	〃	39	磯田 友美(草屋舎共催)		
第18回	薬木で盆栽を作ろう	平成26年 3月 27日(木)	〃	36	清水 虎雄		
第19回	スプリングエフェメラル	平成27年 3月 29日(土)	〃	30	吉澤 政夫(草屋舎共催)		
2号事業 (栽培事業委員会)	薬用植物栽培講習会	生薬の栽培と生産について	平成25年11月5日(火)	新発田市松浦農圃環境改善センター	12	演者:金井藤雄(金井藤吉商店)	
	栽培マニュアルの改訂	薬用植物栽培の手引き(創立50周年記念)の改訂					
3号事業 (栽培事業委員会) (事務局)	白神山視察研修	八峰町栽培地視察 白神山植物園視察	平成25年 6月 6日・7日	白神山「二ツ森」散策・十二歳の植物観察	25	鈴木 一郎(八峰町白神ガイド)	
	美郷町視察研修	美郷町栽培地視察、記念植樹	平成25年 7月 1日・2日	生薬栽培地見学、六郷湧水群見学、記念植樹	13	薬用植物等の栽培地等の意見交換	
	新発田市薬用植物栽培連携協定締結	薬用植物国内栽培の促進に関する連携協定	平成26年3月27日(木)	北辰館	10	新発田市薬用植物試作圃場視察	
	新潟市薬用植物栽培連携協定締結	薬用植物国内栽培の促進に関する連携協定	平成26年3月28日(金)	イタリア軒	14	新潟市農業活性化研究センター見学、ミスト栽培装置7ヶ所カット	
4号事業 (学術委員会)	薬用植物指導員認定者フォローアップ研修	春	製薬工場見学	平成25年10月29日(火)	佛龍角散干薬工場見学	16	製造工程、品質管理・品質保証等を見学
		秋	薬木植生マップ作成作業	平成26年3月23日(日)	東京都薬用植物園	9	約160種の樹種と植栽位置を現状調査した。
共益事業 (総務委員会) (事務局)	薬用植物生け花展	秋の七草	平成25年10月17日(木)	昭和薬買ビル2F	—	薬植奉賛会協力事業 中山 麗子(草屋舎テクニカルスタッフ)	
	ICMIAとの交流	訪問先:ICMCM展示会場、衛生局訪問、余仁生総合医療中心、香港浸海大学中薬学院			10	展示会ICMCMで東京都薬用植物園のポスターを掲示	
	創立60周年記念式典	記念講演会・記念式典・記念祝賀会	平成25年10月23日(水)	神田明神 明神会館	84	演者:瀬間 伊藤 敬雄、60周年記念受賞者:風間高剛 瀬間、伊藤瀬間、金原副会長、赤須理事	
	くすりの歴史展	秋の七草と五条天神天井絵図の解説	平成25年10月22日(火)~25日(金)	昭和薬買ビル2F	627	演者:星薬科大学名誉教授 南雲清二、佛龍角散社長 藤井隆太	
	新年賀詞交歓会		平成26年 1月 28日(火)	神田明神 明神会館	78	25年度受賞者記念品贈呈:牧田潔明理事、岩城修会長、藤井隆太会長、内田尚和副会長	